



第 74 期支部賞選考委員長
株式会社豊田中央研究所
執行職

高尾 尚史

1 はじめに

日本機械学会東海支部賞は、学会創立 100 周年を記念して東海支部第 46 期(1997 年度)に制定され、第 74 期(2025 年度)で 29 回目の贈賞となります。

本賞は、東海地区における学術・技術の振興、特に産・官・学の共同研究や地域に密着した技術・研究活動を奨励し、もって機械工学と機械工業の基礎技術の向上と地盤強化、並びに支部活動の活性化を図ることを目的としています。これまで、機械工学と機械工業の発展に寄与した顕著な功績または業績を長年にわたり表彰してまいりました。

東海支部賞には、功績賞、貢献賞、研究賞、奨励賞、技術賞、発明賞、プロジェクト賞ならびにアントレプレナー賞があります。支部会員からの公募や支部商議員等関係者の推薦により応募を受け付けた後、支部選考委員会で審議が行われ、原則として 5 件以内の贈賞が決定されます。

2 第 74 期の応募状況と選考経過

支部賞の募集は、支部ホームページへの掲載および支部商議員等の関係者からの推薦をお願いしました。今期は当初の募集期間を 1 か月延長し、応募を受け付けました。

選考委員会では、副支部長を選考委員長とし、専門性を考慮して企業および大学所属の商議員からそれぞれ 3 名を委嘱、合計 7 名で委員会を組織しました。賞の選考においては、提出された書類に対し応募対象の賞の趣旨を考慮して各委員が評価点とコメントを付け、それに基づいて委員会にて審議を行いました。

審議の結果、4 件を支部賞候補とし、1 月の幹事会にて贈賞を決定しました。表彰式は、2025 年 3 月 13 日に行われた東海支部第 74 期定時総会内にて執り行いました。賞状と表彰盾は、後日、支部事務局より受賞者へ届けられました。

受賞者各位の業績とご努力に深く敬意を表するとともに、ご推薦者の方々および賞の選考を快くお引き受けいただきました選考委員の方々に厚く御礼申し上げます。

第 75 期(2026 年度)も 7 月から東海支部賞の募

集を始める予定です。ぜひ積極的なご応募をお願いいたします。

3 支部賞受賞者(所属、敬称略)と表題

■ 功績賞(1 件)

学術、技術、学会活動、国際交流、および教育などにおける業績を通じて、機械工学と機械工業の発展に寄与した個人に授与。

☆「東海地方からの振動・制御工学体験型学習の創出と国際展開」

原 進(名古屋大学)

■ 研究賞(3 件)

一連の研究業績を通じて機械工学と機械工業の発展に寄与した個人、もしくは研究グループに授与。

☆「水性インクジェット用インク向け伸長特性計測法「Piezo-driven extensional rheometry」の開発」

松田 健(株式会社 SCREEN ホールディングス)、
玉野 真司(名古屋工業大学)、武藤 真和

☆「磁気ねじアクチュエータの構造簡素化と高推力密度化に関する研究」

部矢 明(名古屋大学)

☆「移動ロボットの自己位置推定に関する課題解決型研究」

飛田 和輝(静岡理工科大学)、美馬 一博

4 おわりに

近年、東海支部賞への応募数が 1 桁にとどまり、募集期間の延長を行っている状況です。

産官学から積極にご応募いただくことによって、日本の「ものづくり」を牽引する東海地区がより活性化し、機械工学のさらなる発展や次世代の研究者・エンジニアの育成につながると考えています。

第 75 期(2026 年度)は、会員の方々にとってより魅力を感じられる支部活動になることが期待されます。機械工学のさらなる発展に向けて、今後も支部活動に対するご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。